

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 都立一橋高等学校 学校運営連絡協議会（通信制課程）
- (2) 事務局の構成 教務主任＝事務局長、生活指導主任、進路指導主任 計3名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務主任、生活指導主任、進路指導主任 計6名
- (4) 協議委員の構成
学識経験者(大学教授)、町内会代表、全通研事務局長、同窓会代表、NPO法人代表 計5名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年6月6日（木） 内部委員5名、協議委員4名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和6年11月28日（木） 内部委員5名、協議委員5名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和7年2月28日（金） 内部委員5名、協議委員5名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和6年11月28日（木） 内部委員2名、協議委員2名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討、今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討、実施時期の検討
 - 第2回 令和6年2月28日（金） 内部委員2名、協議委員2名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書（原案）の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の教育活動・教育環境の状況」「家庭・地域・外部機関等との連携」の観点で実施した。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・回答数（令和7年2月8日（土）までの到着分を集計）

対象	回答数	配布数	回答率
地域	10	10	100.0%
生徒	175	717	24.4%
保護者	34	717	4.7%
教員	16	16	100.0%

＜参考＞	地域	回答率	(R4)	100.0%	(R5)	95.0%	(R6)	100.0%
	生徒	回答率	(R4)	35.9%	(R5)	25.9%	(R6)	24.4%
	保護者	回答率	(R4)	6.5%	(R5)	5.1%	(R6)	4.7%
	教員	回答率	(R4)	100.0%	(R5)	100.0%	(R6)	100.0%

(3) 評価結果の概要

①地域の方々のアンケート項目 肯定的回答の割合(3年間)

1. 通信制の有無

(R4) 80.0% → (R5) 73.7% → (R6) 70.0%

2. 生徒の多様性

(R4) 85.0% → (R5) 79.0% → (R6) 80.0%

3. ホームページの活用

(R4) 0.0% → (R5) 0.0% → (R6) 0.0%

4. 土曜日スクーリング

(R4) 70.0% → (R5) 31.6% → (R6) 60.0%

5. 地域活動

(R4) 0.0% → (R5) 0.0% → (R6) 0.0%

②生徒、保護者共通のアンケート項目 肯定的回答の割合(3年間)

1. 入学満足度

生徒 (R4) 73.0% → (R5) 74.7% → (R6) 85.1%

保護者 (R4) 85.4% → (R5) 67.6% → (R6) 82.6%

2. 学校生活の充実

生徒 (R4) 57.5% → (R5) 66.1% → (R6) 70.3%

保護者 (R4) 58.5% → (R5) 67.6% → (R6) 65.2%

3. ホームページの活用

生徒 (R4) 60.6% → (R5) 64.3% → (R6) 66.9%

保護者 (R4) 14.6% → (R5) 14.7% → (R6) 4.3%

4. 月報、スクーリングニュース

生徒 (R4) 60.2% → (R5) 64.9% → (R6) 77.1%

保護者 (R4) 85.4% → (R5) 73.5% → (R6) 73.9%

5. 施設の整備

生徒 (R4) 61.9% → (R5) 68.4% → (R6) 73.1%

保護者 (R4) 39.0% → (R5) 53.0% → (R6) 65.2%

6. 電話、窓口

生徒 (R4) 57.5% → (R5) 66.7% → (R6) 68.6%

保護者 (R4) 56.1% → (R5) 85.3% → (R6) 69.6%

7. 広報活動

生徒 (R4) 32.7% → (R5) 33.4% → (R6) 37.1%

保護者 (R4) 14.6% → (R5) 35.3% → (R6) 39.1%

8. 学校のしくみの説明

生徒 (R4) 73.0% → (R5) 81.6% → (R6) 81.7%

保護者 (R4) 82.9% → (R5) 82.4% → (R6) 82.6%

9. スクーリングの工夫

生徒 (R4) 66.4% → (R5) 77.0% → (R6) 82.3%

保護者 (R4) 73.2% → (R5) 67.6% → (R6) 69.6%

10. 体験学習の重視

生徒 (R4) 48.6% → (R5) 48.3% → (R6) 66.3%

保護者 (R4) 41.4% → (R5) 50.0% → (R6) 52.2%

11. 適切なレポート添削

生徒 (R4) 65.4% → (R5) 75.9% → (R6) 70.9%

保護者 (R4) 75.6% → (R5) 70.6% → (R6) 52.2%

12. 質問のしやすさ

生徒 (R4) 50.9% → (R5) 57.5% → (R6) 58.9%

保護者 (R4) 34.2% → (R5) 58.8% → (R6) 60.9%

13. 自学自習の充実

生徒 (R4) 54.5% → (R5) 63.8% → (R6) 71.4%

保護者 (R4) 51.3% → (R5) 52.9% → (R6) 69.6%

14. 学校行事の充実

生徒 (R4) 53.6% → (R5) 50.6% → (R6) 62.3%

保護者 (R4) 56.1% → (R5) 64.7% → (R6) 47.8%

15. 部活動、生徒会の充実

生徒 (R4) 43.4% → (R5) 39.6% → (R6) 46.9%

保護者 (R4) 43.9% → (R5) 58.8% → (R6) 43.5%

16. ルール、マナーの指導

生徒 (R4) 51.3% → (R5) 60.4% → (R6) 65.1%

保護者 (R4) 39.0% → (R5) 50.0% → (R6) 47.8%

17. 学校での相談体制

生徒 (R4) 50.8% → (R5) 53.4% → (R6) 53.7%

保護者 (R4) 39.1% → (R5) 58.9% → (R6) 52.2%

18. 適切な進路指導

生徒 (R4) 59.3% → (R5) 63.8% → (R6) 64.6%

保護者 (R4) 43.9% → (R5) 70.6% → (R6) 60.9%

19. 体罰の有無

生徒 (R4) 58.8% → (R5) 63.3% → (R6) 67.4%

保護者 (R4) 41.5% → (R5) 58.8% → (R6) 52.2%

20. 教育目標の理解

生徒 (R4) — → (R5) 68.4% → (R6) 68.6%

保護者 (R4) — → (R5) — → (R6) 78.3%

(4) 令和6年度 学校評価アンケート結果の分析と今後の取組

①地域の方々へのアンケート項目

1. 通信制の有無

肯定的な回答が70%であり、一橋高等学校は定時制と通信制の併置校であることは理解されている。

2. 生徒の多様性

肯定的な回答が80%であった。多様な生徒が在籍していることは理解されている。

3. ホームページの活用

3年間、0%である。今後とも地域の方々に対して学校行事等の公開日時を周知し、学校をPRしたい。

4. 土曜スクーリング

肯定的な回答が80%であった。土曜日に教育活動が行われていることは理解されている。

5. 地域活動

3年間、0%である。今後とも生徒の地域活動の取組を着実にし、地域貢献活動を大切にしたい。

②生徒・保護者へのアンケート項目

1. 入学満足度

入学満足度は、肯定的回答が生徒85.1%、保護者82.6%であった。生徒、保護者の意見をしっかりと受け止めながら引き続き学校改革に取り組んでいきたい。

2. 学校生活の充実

学校生活の充実は、肯定的回答が生徒70.3%、保護者65.2%であった。「1. 入学満足度」の値と比べると、生徒、保護者とも「学校生活の充実」の肯定的な回答の割合が低くなっていることから、来年度も引き続き学校生活の改善に取り組んでいきたい。

3. ホームページの活用

ホームページを見ているかについては、肯定的回答が生徒66.9%、保護者4.3%であった。

ホームページは重要な情報伝達手段の一つなので、引き続き学校ホームページを周知するとともに、関心をもって見てもらう工夫をしたい。

4. 月報、スクーリングニュース

月報、スクーリングニュースは、肯定的回答が生徒77.1%、保護者73.9%であった。
生徒にとって、月報、スクーリングニュースは重要な情報伝達手段であるので、各教員による徹底した指導を行う。

5. 施設の整備

施設整備に関しては、肯定的回答が生徒73.1%、保護者65.2%であった。今後とも、安心・安全な教育環境の整備に引き続き取り組む。

6. 電話、窓口

電話、窓口対応については、肯定的回答が今年度、生徒68.6%、保護者69.6%であった。
今後も電話、窓口での丁寧な対応をする。

7. 広報活動

広報活動については、肯定的回答が生徒37.1%、保護者39.1%であった。一昨年度、昨年度と比べ、生徒、保護者ともに、低い値で推移している。引き続き広報活動の改善に取り組みたい。

8. 学校のしくみの説明

学校のしくみについては、肯定的回答が生徒81.7%、保護者82.6%であった。100%を目指して、引き続き取り組む。

9. スクーリングの工夫

スクーリングについては、肯定的回答が生徒82.3%、保護者69.6%であった。スクーリングに関して、引き続き丁寧な指導を行い、改善に取り組む。

10. 体験学習の重視

主体的学習、体験型学習の重視については、肯定的回答が生徒66.3%、保護者52.2%であった。
全ての教員が主体的な学習、体験型の学習を重視し、生徒の学力向上を支援する体制を構築する。

11. 適切なレポート添削

レポートの添削の指導方法については、肯定的回答が生徒70.9%、保護者52.2%であった。
昨年度より生徒、保護者とも減少していることから、引き続き丁寧な添削指導に取り組む。

12. 質問のしやすさ

学習をすすめるにあたって質問のしやすさについては、肯定的回答が生徒58.9%、保護者60.9%であった。通信制課程の学習をすすめるにあたって、引き続き学校全体で、生徒、保護者が質問しやすく、質問には丁寧に、わかりやすく対応する体制づくりを進めていく。

13. 自学自習の充実

自学自習の充実については、肯定的回答が生徒71.4%、保護者69.6%であった。様々な課題を抱えた生徒が多く在籍しているが、自学自習の充実を図るため、平日に行われる質問デーや自学自習のヒント集の活用をさらに進めていく。

14. 学校行事の充実

学校行事については、肯定的回答が生徒62.3%、保護者の47.8%であった。今後、来年度に向けた企画・立案を行い、各行事の周知と、生徒への参加を促していきたい。

15. 部活動、生徒会の充実

部活動や生徒会については、肯定的回答が生徒46.9%、保護者43.5%であった。生徒の部活動や生徒会活動について引き続き周知し、活性化に取り組む。

16. ルール、マナーの指導

ルール、マナーの指導については、肯定的回答が生徒65.1%、保護者47.8%であった。今後とも、学校全体でルール、マナーの指導の徹底に取り組み、生活指導の徹底に取り組む。

17. 学校での相談体制

相談体制については、肯定的回答が生徒53.7%、保護者52.2%であった。3名のユースソーシャルワーカーの学校配置により、多くの生徒が相談できる体制づくりを進めているが、登校できず、関わりがもてない生徒も存在している。今後とも様々な生徒に対応した相談体制の充実に取り組む。

18. 適切な進路指導

進路指導については、肯定的回答が生徒64.6%、保護者60.9%であった。今後、年間進路指導計画を充実させ、生徒の希望進路実現に取り組む。

19. 体罰の有無

体罰を許さないという学校の姿勢については、肯定的回答が生徒67.4%、保護者52.2%であった。教員の日常の活動や生徒・保護者との関係を築き上げ、今後とも体罰を絶対に許さない取組を学校全体で推進していく。

20. 教育目標の理解

教育目標の理解については、肯定的な回答は、生徒が68.6%、保護者が78.3%であった。生徒に教育目標を理解させ、本校通信制課程での学習活動等への取り組みを高めさせていく。